

科目名	ビジネス学部(経済・経営・法を含む)・科目2(非常勤)	出席・回答率 (出席・回答者数/登録者数)	54.5%
			(6/11)

設問項目別回答率

【I】

(1)あなたは、この授業にどの程度出席していますか。

ア. 毎回出席している イ. 大体出席している ウ. 半分ぐらい出席している エ. あまり出席していない

ア	25.0%	イ	25.0%	ウ	50.0%	エ	0.0%
---	-------	---	-------	---	-------	---	------

(2)あなたはこの授業に積極的に取り組んでいますか。

ア. かなり積極的である イ. やや積極的である ウ. やや消極的である エ. かなり消極的である

ア	33.3%	イ	50.0%	ウ	16.7%	エ	0.0%
---	-------	---	-------	---	-------	---	------

(3)あなたは、この授業に関する自学自習をしていますか。

ア. かなりしている イ. ある程度している ウ. あまりしていない エ. 全くしていない

ア	0.0%	イ	33.3%	ウ	16.7%	エ	50.0%
---	------	---	-------	---	-------	---	-------

(4)シラバスは授業の目標、内容、評価法などを示していますが、この授業を履修するのに役立ちましたか。

ア. かなり役立った イ. ある程度役立った ウ. あまり役立たなかった エ. 全く役立たなかった オ. 読まなかった

ア	20.0%	イ	60.0%	ウ	20.0%	エ	0.0%	オ	0.0%
---	-------	---	-------	---	-------	---	------	---	------

(5)この授業内容のボリューム(分量)は適当ですか。

ア. かなり多い イ. やや多い ウ. 適当である エ. やや少ない オ. かなり少ない

ア	0.0%	イ	33.3%	ウ	66.7%	エ	0.0%	オ	0.0%
---	------	---	-------	---	-------	---	------	---	------

(6)この授業の難易度は適当ですか。

ア. かなり難しい イ. やや難しい ウ. 適当である エ. やや易しい オ. かなり易しい

ア	16.7%	イ	50.0%	ウ	33.3%	エ	0.0%	オ	0.0%
---	-------	---	-------	---	-------	---	------	---	------

(7)担当の先生の説明は分かりやすいですか。

ア. かなり分かりやすい イ. やや分かりやすい ウ. やや分かりにくい エ. かなり分かりにくい

ア	16.7%	イ	33.3%	ウ	50.0%	エ	0.0%
---	-------	---	-------	---	-------	---	------

(8)テキストやレジュメなど教材はこの授業の理解に役立っていますか。

ア. かなり役立っている イ. ある程度役立っている ウ. あまり役立っていない エ. 全く役立っていない

ア	20.0%	イ	80.0%	ウ	0.0%	エ	0.0%
---	-------	---	-------	---	------	---	------

(9)担当の先生は授業にあたり、毎回どの程度準備していると思われるですか。

ア. かなりよく準備している イ. ある程度準備している ウ. あまり準備していない エ. 全く準備していない

ア	33.3%	イ	50.0%	ウ	16.7%	エ	0.0%
---	-------	---	-------	---	-------	---	------

(10)先生の授業に対する熱意や意欲は感じられますか。

ア. かなり感じられる イ. ある程度感じられる ウ. あまり感じられない エ. 全く感じられない

ア	33.3%	イ	50.0%	ウ	16.7%	エ	0.0%
---	-------	---	-------	---	-------	---	------

(11)この授業に関する受講生の声(意見・質問)に対して、教員から何らかの説明がありましたか。

ア. かなり十分な説明があった イ. ある程度説明があった ウ. あまり説明がなかった エ. 全く説明がなかった

ア	33.3%	イ	33.3%	ウ	33.3%	エ	0.0%
---	-------	---	-------	---	-------	---	------

(12)この授業を受けて、学習意欲は刺激されますか。

ア. かなり刺激される イ. ある程度刺激される ウ. あまり刺激されない エ. 全く刺激されない

ア	16.7%	イ	66.7%	ウ	16.7%	エ	0.0%
---	-------	---	-------	---	-------	---	------

(13)この授業の内容は理解出来ますか。

ア. かなりよく理解できる イ. ある程度理解できる ウ. あまり理解できない エ. 全く理解できない

ア	33.3%	イ	33.3%	ウ	33.3%	エ	0.0%
---	-------	---	-------	---	-------	---	------

(14)この授業に満足していますか。

ア. かなり満足している イ. やや満足している ウ. やや不満である エ. かなり不満である

ア	16.7%	イ	83.3%	ウ	0.0%	エ	0.0%
---	-------	---	-------	---	------	---	------

(15)自分を作り上げる努力をするうえで、この授業は役立ちますか。

ア. かなり役立つ イ. ある程度役立つ ウ. あまり役立たない エ. 全く役立たない

ア	16.7%	イ	50.0%	ウ	33.3%	エ	0.0%
---	-------	---	-------	---	-------	---	------

(16)あなたはこの授業を他の学生にも薦めたいですか。

ア. ぜひ薦めたい イ. できるだけ薦めたい ウ. あまり薦めたくない エ. 薦めたくない

ア	16.7%	イ	83.3%	ウ	0.0%	エ	0.0%
---	-------	---	-------	---	------	---	------

【II】

[A]この授業を履修した動機は何ですか。当てはまるものを全て選びマークしてください。

(17)専門性を高めたいから (18)興味・関心を持ったから (19)友達・先輩が取ったから
(20)時間割上の都合から (21)簡単に単位が取れそうだから (22)必修だったから

(17)	0.0%	(18)	16.7%	(19)	16.7%
(20)	50.0%	(21)	0.0%	(22)	0.0%

[B]あなたがこの授業で工夫してもらいたいと思うものを全て選びマークしてください。

- (23)ビデオなど視聴覚教材の活用 (24)power pointなどのIT教材の活用 (25)上手な板書
(26)話題や例示の妥当性 (27)この中にはない (28)満足している

(23)	16.7%	(24)	0.0%	(25)	0.0%
(26)	16.7%	(27)	50.0%	(28)	0.0%

[C]この授業で先生とどのような手段で交流をはかりたいですか。該当するものを全て選びマークしてください。

- (29)教室での対話 (30)教室外での対話 (31)e-mail (32)オフィスアワー
(33)レポートによる感想や意見 (34)この中にはない (35)その他

(29)	0.0%	(30)	16.7%	(31)	0.0%	(32)	0.0%
(33)	16.7%	(34)	66.7%	(35)	0.0%		

①自己評価

担当科目本来の性質は講義形式がふさわしいと思われるが、履修者(受講者)が少なく従来の形式が馴染まないようになってきた。そこで、今年度は中身とともにやり方を見直し対話を重視したゼミ形式に変更した。毎回、テーマごとにプリントや本のコピーを配布し、重要な箇所について指摘したり、問題提起をしてその話題について皆で話し合ったりと双方向的な問題解決型の授業を試みた。学生にすると発言する機会が増えるため、それを嫌がり反発する者も若干はいたが、おおむね素直に応じてくれた。こうした授業は大講義室では困難だが少人数では比較的容易である。今のところ確かな効果は確認できていないが形式を変更したことは有意義だったと考えている。

②評価に対する教員の思い

本科目は従来は板書中心の講義形式で行っていたが、そのときは授業内容のボリュームが多いと答える学生が多数だった。しかし、今回は適量だと答える学生が増えており、これはゼミ形式に変更し板書量が減少したことが影響していると思われる。不満な点が1つ解消されたとみればよかったと言えるだろう。

また、すべての授業に共通したことであるが、大学の講義は知的好奇心を刺激するものでなければならない。教員の説明が「ややわかりにくい」と答えた学生が半数いるが、これは常に学生に考える余地を与えているからである。一から十まで説明することが必ずしもよいことだとは思わない。わからないところを考えることに意味があるのである。そのことを理解して欲しい。

③より充実した授業のために・・・自己評価を踏まえての目標と課題

教室内での対話が増えたことで学生の思いをある程度把握できた一方、教員との対話を好まない学生の扱いをどうしたらよいかという新たな課題が生じた。講義形式ではこうした問題は起きない。話し合いの中に入ろうとしない学生が一人でもいると場の雰囲気や士気を乱し、全体の士気を低下させる。輪の中に入れることがベストなのだが、その都度無用な時間を費やしてしまう。こうした学生を特別扱いすることも問題だろう。結局、その学生は参加したりしなかったりで一貫性を持たすことができなかつた。信頼関係を容易に築けない学生とどのように向き合ったらよいかについて今のところ有効な解決策は見出せないが今後に向けての課題としたい。

※①②③に記載された内容については、学生に対しては、科目名・教員名を記載し学内webにて公表します。

学外への公表については、教員名を消し、科目名を(例)「学部・科目1」という表記にして公開します。